



みんなでつくる地域の輪

保泉 文伺さん（坂本）

写真：坂本ふれあい会常任幹事会（保泉さん：右手前から8番目）

私

は現在、ふれあい坂本会の会長としてお世話になっています。

ふれあい坂本会は、神代里神楽保存会、楮の柴果樹組合、和太鼓愛好会、観桜会等の人たちと協力し、坂本地域を盛り上げる活動をしています。

「いいね！坂本」というキャッチフレーズのもと、これまでで協働のまちづくり事業の一環として、村の支援を受けながら虎山の千本桜に看板を設置したり、散策道路の整備を行うなど、積極的に活動をしてまいりました。それ以外にも、坂本の地域で楽しめるイベントを何かできないかと、二本木峠の山つつじ歓笑祭や坂本夏祭りの開催も行っています。

これらひとつひとつの活動やイベントの開会にあたり、会の役員さんをはじめとした、地域の皆さんや専門の技術を持った方々に支えていただき、毎年、楽しいイベントを開催することができています。

また、若い世代の方もイベントに参加していただいています。今現在、役員は高齢化が進んでいる状況です。今後の課題として、会の活動を若い世代に引き継いでもらえるよう、努力したいと考えています。



「米作りに励みながらの生活」

私はサラリーマンを辞めてから次のような考えで生活を送ることを決めました。①健康であること②暮らしていくための最低限のお金があること③趣味を生かした地域活動をするということです。それらを軸に、私は米作りに日々励んでいます。私の米作りは、無農薬、有機栽培、天日干しにこだわりの管理は毎日欠かさず行うのはもちろんのこと、美味しい米ができるよう心を込めて育てています。

種類としては、「キヌヒカリ」ともち米を栽培し、年間であまり多くの量を収穫はしていませんが、自分で食べる分と親戚や知人に配っています。配る時には喜んでもらい、とても作り甲斐があつて嬉しいです。米作りは天候との勝負！これからは心を入れて米作りをしていきます。